

業務継続計画（**BCP**）概要版

【自然災害発生時編】

パーキンソン病特化型デイサービス Beaver（高松事業所）

運営法人：FunnyLife 合同会社

1．基本方針

- 地震・風水害等の自然災害が発生した場合においても、利用者の生命及び健康を守り、可能な限りサービス提供の継続又は早期再開を図ることを目的として、業務継続計画（BCP）を策定しています。
- パーキンソン病の利用者様はリハビリテーション・運動機能訓練の中断が症状悪化に直結しやすく、内服薬の服薬タイミング管理も重要であることを踏まえた計画としています。

2．推進体制

- 統括責任者、推進担当者、情報連絡担当、送迎・安全確保担当を配置し、平常時の備蓄・訓練管理及び緊急時の指揮命令系統を明確化しています。

3．想定するリスク

- 当事業所は洪水浸水想定区域内に所在するため、大雨・台風時の浸水リスクを想定しています。
- 地震（震度5弱以上等）発生時の建物・設備被害を想定し、リスクに応じた優先業務を選定しています。

4．平常時の備え

- 建物・設備の安全対策、ライフライン停止時の対策、必要品の備蓄、資金手当を実施しています。
- 職員教育・訓練を定期的 to 実施し、計画の検証・見直しを継続的に行っています。
- 地域及び関係機関との連携体制を構築しています。

5．緊急時対応の概要

- 気象情報・地震情報等に基づき、あらかじめ定めた基準に従いBCPを発動します。
- 水害時は立退き避難を最優先とし、状況に応じて代替の避難手段を講じます。
- 地震発生時は身の安全確保後、建物被害状況を確認し、必要に応じて避難誘導を行います。
- 職員・利用者の安否確認を優先順位に基づき実施します。
- 参集可能な職員数に応じて、サービス提供体制を調整します（縮小運営を含む）。

6．重要業務の継続

- 在宅利用者の生活状況・服薬状況の確認を最優先で継続します。
- 施設利用が困難な期間は、電話等による安否確認や簡易な運動指導により機能低下を予防します。

7．計画の見直し

- 定期的な訓練・検証を通じて、計画の実効性を維持・向上させます。

※本概要は業務継続計画の要点を示したものです。緊急連絡網、避難先の詳細、職員個別の役割分担等の詳細事項は事業所内に備え付けておりますので、ご希望の方は事業所までお申し出ください。